



▲ 準々決勝の対金沢戦5回、菊木がこの日2本目のホームランをレフトスタンド場外に放つ = 7月25日、石川県立球場



▲ 準決勝の対星稜戦で敗退後、グラウンド内に整列して3位の表彰を受ける東高校ナイン = 7月28日、石川県立球場

高校野球石川大会

東高初の4強

金沢破るも星稜に惜敗

第89回全国高校野球選手権石川大会に出場した金沢学院東高校チームは初めて準決勝に進出する活躍を見せ、甲子園大会出場に向けた確かな手応えを得ました。東高校は準々決勝で強豪の金沢に9-6と打ち勝ちましたが、準決勝は優勝した星稜に4-5で惜敗しました。

甲子園大会出場へ手応え

東高校は開幕した14日の1回戦で金沢西に7-1

で勝って勢いに乗り、2回戦(21日)は門前に3-1、3回戦(23日)は羽咋工業を5-1で破って8強に進出しました。

準々決勝(25日)では打線が爆発。大会後に優秀選手に選ばれた4番菊木の2本の本塁打をはじめ長短打14本を放って金沢に打ち勝ちました。準決勝(28日)では星稜に先行されたものの終盤に1点差に詰め寄る

粘りを見せました。投手力も快進撃の要因で、5試合のうち羽咋工業戦を除く4試合は、2年生エースの松田、3年生の安藤の継投で相手打線の反撃をしのぎました。

岡田史郎部長は「残念な結果だったが、秋の大会に向けて数多くの収穫があった。甲子園出場に向けて大きく一歩前進できたと思う」と話しています。

ジャパテン職人大学校

第二十回記念ジャパテンの金沢職人大学校は七月三十日行われ、金沢学院短期大学の会場では、絞り染め(藍染め)の体験学習がありました。留学生七人が短大生と一緒に講師の指導を受け、布地に工夫を凝らした白い模様を浮かび上げられました。



藍染めを体験する留学生 = 4号館

趣あふれる連句

文学部公開講座で「座の文芸」



金沢学院大学文学部の公開講座「座の文芸と美術―歌仙を巻く」は七月二十八日、金沢市の石川県立生涯学習センターで約七十人が参加して開かれました。

連句の妙を味わいました。泉鏡花など2講座も文学部の公開講座は七月一日に「翻訳者から見た泉鏡花の文学」、七月二十二日に「文学作品にみる『家族』がいずれも金沢市西町教育研修館で行われ、教員が作品の魅力を解説しました。

創作を通じて連句の魅力味わう公開講座 金沢市内 二句を創作したのに続いて、名残の表・裏計十八句を会場からの投句で完成させました。参加者は趣があふれた

5日に大同窓会講演会

金沢女子大学・金沢学院大学の同窓会翠会の記念講演会は八月五日午後四時半から、金沢市の金沢全日空ホテルで開かれます。



写真右に「女医が語るおもしろ健康講話」のテーマで講演します。タレントの西川史子さん、医師で開かれま

発行・広報室